

思い出詰まった学び舎に感謝 二川小学校閉校式 二川保育所閉園式



地域内外からたくさんの人たちが式に出席



式の後には「思い出の会」も



みんなで校歌斉唱



校庭に記念碑が設置されました

3月23日、二川小学校閉校式と二川保育所閉園式が行われました。人口減少が進む中、平成29年12月に湯原小学校への統合が決定しました。式には多くの人が出席し、記念事業準備委員会の遠藤正明委員長が「地域の絆を大切に、先人から受け継いだ美しい自然と文化の数々、二川小学校の児童から受け継いだふたちゃんと一緒に、元気で誇れる地域を目指してまいります」とあいさつ。校歌斉唱では涙ぐむ人の姿も見られました。

**悠久の時を経て
醍醐桜まつりオープニング式**

堂々としたその姿が見る者を圧倒する醍醐桜。この醍醐桜の開花にあわせて3月24日、醍醐桜まつりのオープニング式が行われました。式では醍醐桜まつり実行委員会の春木基男会長や来賓のあいさつに続いてテープカットが行なわれ、まつりが始まりました。28日からは観光客をもてなそうと手作りこんにゃくや採れたての野菜の販売が行なわれたほか、今年から地元以外の人たちも出店に参加しまつりを盛り上げました。



関係者らのテープカットで幕を開けた醍醐桜まつり



華やかな輿入れ道中に多くの人が魅了

3月23日と24日の2日間、なかつい陣屋一帯を会場に中津井雛の文化まつりが開かれ、約40戸の民家にお雛様や創作雛が飾られました。また短歌や手芸品などの文化作品を展示している所もありました。江戸時代末期の嫁入り行列を再現した「輿入れ道中」では、地元出身の森下真心さんが花嫁役を担つたほか、中津井に縁のある山田方谷役、稚児行列などが練り歩き、訪れた人々は華やかな時代絵巻に見入っていました。

時代絵巻に来場者注目 中津井雛の文化まつり

3/25 手作りした着物を受け継ぐ

宍戸つるさん（栗谷）が3月14日に百歳を迎えるされました。98歳まで元気に畠づくりをしていました。洋裁や和裁、編み物が得意で、手作りした着物を子、孫へと代々受け継いでいるところです。



4/6 春の訪れを佐井田山で楽しむ

中津井せんだんの会が約1年かけて整備してきた佐井田山を楽しんでもらおうと「佐井田城趾ウォーキング」を開催しました。40人を超える参加者が集まり、佐井田城の本丸跡を目指し山を登りました。



4/7 Dance Club VIVO 第1回発表会

エスパスホールでダンスクラブビーの第1回発表会が開かれました。クラブ生やOBなど約50人がステージに立ち、明るく元気なポップスやしっとりと踊るナンバー、バレエなど1年間の練習の成果を披露しました。



4/13 創作てまり御殿まり作品展

美甘の宿場桜の開花にあわせて、美甘てまり同好会の創作てまり御殿まり作品展が開かれました。会場には、植物や幾何学模様などを色とりどりの糸で表現した作品が並び、訪れた人の目を楽しませていました。



4/13 春の草花展

久世にある元保育所のたちはな園で山野草趣味の会による春の草花展が開かれました。会場には山野草愛好家が訪れ、気になった草花を写真に収めたりメモを取ったりしながら春の愛らしい草花に見入っていました。



私たちの作ったジビエ料理、どうぞ召し上がり

3月29日、ジビエ料理の試食会が久世のフリースペース風曜日で開かれました。真庭高校久世校地食品学科の3年生5人が開発した「味噌様発酵調味料」で味付けしたドレッシングをかけたサラダや、猪肉のミートソースなどが提供されました。味噌様発酵調味料は蒸した猪肉のミンチを米麹や塩と混ぜて発酵させていて、試食した人は「サラダにかかっていたドレッシングは買って帰りたい」と話していました。

高校生考案のジビエ料理を試食



美味しいピザが焼けたかな？

4月1日、ピタゴラス放課後真庭を利用している子どもたちが一日限りのピザ屋さんを開きました。久世にある飲食店「ピツツア ボルサリーノ」を貸し切ったお店の名前は「コボルサリーノ」。子どもたちは注文を聞く係りやピザ生地を伸ばす係りなどピザ屋さんの仕事を体験しました。お昼近くになると、事前に予約していた人や交代で休憩するピタゴラスの子どもたちで店内はてんてこ舞いの忙しさでした。

**子どもたちのピザ屋さん
コボルサリーノ**

新茶・新緑と
春の息吹を体験



真庭のツアープログラム  問
真庭観光局 0867-45-7111

山菜収穫と地元のお母さんと一緒に作る山菜ランチ

日 5月6日(月・祝)、19日(日)9:30~13:30

所 クリエイト菅谷(美甘1050-2)

料 お一人様4,000円

山焼き後の大地から芽吹いた「山菜」を収穫、さらに地元のお母さんと一緒に作る山菜料理を体験。美甘の魅力がギュッと詰まったランチもお楽しみください。

自然素材のこんにゃく作り体験

日5月10日(金)、17日(金)10:30~12:00

所 皇子西集会所(岩井谷428-2)

料 大人2,300円

およそ300年前より富原で始まったこんにゃく作り。こんにゃく芋に木の灰のアカを混ぜ、大きな苔土釜(くどがま)で煮て作る伝統製法を体験します。

他にも各エリアで様々なプログラムがあります
詳しくは『真庭観光WEB』でご覧いただけます



桜が咲き、暖かな春になりました。元で写真を撮りに行きました。桜の撮影に行こうと、地元で写真を撮りに行きました。使ったことなど無かつた一眼レフカメラも、広報担当になりこの1年間で何度も使っているのですが、思うように撮影することはできませんでした。難しいです。また新たな気持ちで、1年間さまざまな場所に取材に行きます。桜の写真は掲載していません。

3年目の春を迎えるました。真庭市についてはまだまだ知らないことが多い、また、部署異動も初めてであり、毎日が大変です。これからも、真庭市のさまざまな姿を学び、発信できたらと思います。よろしくお願ひいたし

今月号から新しいコーナー「真庭人」が始まりました。「まにわびと」と読んでくださいね。真庭市内で活躍する人や、真庭市に縁のある人などを取材していく予定にしています。記念すべき第1回目は、「人力車まつもと」の松本高明さん。松本さんの活動については28ページを覗くください。私が撮影したかっこいい松本さんの雄姿も載っています。

まにあがスキッ!!

編集後記



この広報紙は、環境にやさしい
植物油(こまち食用)で印刷されています



この印刷の一部には、水質保全に有効な
水かじ印刷方式を採用しています。

この広報紙は、再生紙を
使用しています。